

デイリー・ジーザス・ニュース #226

イエスのエルサレムへの最後の旅

イエスは最後の到来について教える

ルカ17.26-37 (繰り返しテキスト : マタイ24.37-42)

26 「ノアの時代に起こったことと全く同じことが、人の子の時代にも起こるであろう。27 ノアが箱舟に入る日まで、人々は食べたり、飲んだり、結婚したり、嫁いだりしていました。しかし、洪水が来て、彼らは皆滅ぼされました。

28 「ロトの時代も全く同じでした。人々は食べたり飲んだり、買ったり売ったり、植えたり建てたりしていました。29 しかし、ロトがソドムを去った日、天から火と硫黄が降り注ぎ、彼らをすべて滅ぼしました。

31 「人の子が現れる日にも、同じようなことが起こります。31 その日には、屋上にいる者、家の中に持ち物を持っている者は、それを取りに降りて行ってはなりません。同様に、畑にいる者も、何かを取りに戻ってはなりません。

32 「わたしはあなたに命じる。ロトの妻のことを常に心に留めておきなさい。

33 自分の命を守ろうとする者はそれを失い、自分の命を失う者はそれを保とうとするのです。

34 言っておくが、その夜、二人の人が一つの床に寝ているが、一人は連れて行かれ、他の一人は残されるであろう。35 二人の女が一緒に穀物を挽いていると、一人は連れて行かれ、他の一人は残される。」

(ほとんどの古代写本は私たちと同様に36節を記している)

37 彼らは「主よ、どこですか」と尋ねた。イエスは答えられた。「死体があるところにはハゲタカが集まる」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト

位置	エルサレムへの道のどこか
タイムライン	3月 (38月)
イエスの生涯の文脈	第7段階 : ペレアにおけるイエスの宣教
	C. イエスのエルサレムへの最後の旅

デイリー・ジーザス・ニュース #226

タイトル	4. イエスは最後の到来について教える
------	---------------------

コメント：

今日の朗読でイエスは、ご自身の最後の到来について語る際に、ラビがよく用いる教え方を用いました。イエスは、一種の謎かけとも言えるパロドックスを提示しました。この手法は、教えへの好奇心を掻き立て、教えへの関心を喚起しました。そして、謎を解く満足感によって、学ぶ者にとって重要なポイントが特に記憶に残りました。イエスが様々な教え方を巧みに使いこなしていたことが、人々がイエスの教えを聞きがかった理由の一つでした。

イエスはこの聖句の中で、ご自身の再臨について二つの矛盾した特徴を提示することで、パロドックスを生み出しました。一方では、この世における「普通の」生活は、再臨の瞬間まで続くのです。イエスは聖書から二つの例を挙げました。洪水とソドムの滅亡のどちらの場合も、人々は災害に見舞われるまで、食べ、飲み、結婚し、普通の生活を送っていました。イエスが天から再臨される時も、まさにそのような状態になります。再臨の正確な時刻は誰も知らないため、再臨の瞬間まで、人々はいつも通りの生活を続けるのです。

一方、イエスの再臨は、私たちがこの地上で「普通」とみなしている生活が突然終わることも意味します。イエスの再臨は、イエスの王国の統治が普遍的に認められ、実現されることを告げるでしょう。この世で「普通」とみなされているすべての国、言語、文化、世界観は、イエスの王国に飲み込まれ、永久にイエスの教えに適応するでしょう。死と同じように、私たちはこの人生から何も持ち出すことができません。それは全く新しい始まりであり、完全な変革となるでしょう。

ですから、一方では、イエスが再臨されるまで「普通の」生活は変わらず続きます。他方では、イエスが再臨される瞬間に「普通の」生活は一瞬にして終わり、イエスが愛によって一つに結ばれた一つの王国において全地を統治する「新しい」世界が始まります。イエスと共に神の王国で生きる生活は永遠に続き、永遠に「普通の」生き方となるのです。

「普通の」生活におけるこの途方もない、そして瞬間的な変化は、イエスの再臨の瞬間に起こります。ですから、イエスはこの教えの核心となる重要な戒めを与えました。 **「わたしはあなたに命じる、常に口の中の妻のことを心に留めておきなさい。」**彼女はソドムから逃げながら、ソドムの滅亡を振り返りました。なぜなら、彼女はそこで生活をまだ懐かしんでいたからです。彼女はそれが終わったことを受け入れることができませんでした。全く「新しい」普通の生活を受け入れる準備ができていなかったのです。

同様に、私たち信者は、この世で「普通」と考えている生活が、実際には普通ではないことを理解する必要があります。それは一時的なものであり、この地上における王イエスの統治のもとで、永遠の普通の生活を送るための単なる準備に過ぎません。私たちはこの世からイエスの王国に何も持って行くことはできません。イエスはすべてのものを新しくし、完全なものにします。ですから、イエスの再臨に備える最良の方法は、今、人生のすべてをイエスに合わせ、イエスの永遠の王国の価値観に従って生きることです。

デイリー・ジーザス・ニュース #226

私たちを取り巻く文化的規範は一時的なものであり、欠陥があります。イエスの賢明な僕たちは、イエスの永遠の王国の価値観を今「普通」だと考えています。そうでなければ、私たちは口トの妻の教訓を心に留めていないことになります。

応用：

弟子たちはイエスの教えを一つの質問で終わりました。「王国はどこにあるのか？ イエスは民を皆集める場所はどこなのか？」

イエスは物理的な場所については答えませんでした。死体のあるところにハゲワシが集まるように、すべての信者は主が最後に再臨されるときに主のいるところに集まる、とイエスは言いました。つまり、天国は単なる場所ではなく、主の臨在そのものなのです。

三位一体の神が私たちに与えてくださるイエスとの最も深い交わりと親交は、私たちがどこにいても天国にいることを意味します。天国とは、神の束縛されない臨在です。ですから、御国での生活は、王であるイエスの臨在の中での生活なのです。

この地上での「普通の」生活の中で、あなたがイエスに従うことよりも重要視している部分はありますか？

「口トの妻のことを常に心に留めなさい」というイエスの命令は、そのことに関してあなたにどのような影響を与えますか。

あなたはこの問題をイエスにどのように対応しますか？